

兵庫県豊岡市但東町

日本・モンゴル民族博物館年報

第 13 号 (平成 23 年度)

Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum

No.13 (for the fiscal year of 2011)

あ い さ つ

当館は、平成8年11月の開館以来、今年で15周年の節目を迎え、その記念事業として、モンゴル民族芸術音楽舞踊団公演「草原のそよ風」を、10月27日に出石「ひぼこホール」で300人を超す観客で盛大に開催することができました。また恒例のモンゴル国からの中学生等（中学生6名、引率者2名）の受け入れも実施し、市内中学生との交流や市内研修など、交流を深めました。

さらに、平成23年度は企画展を3回開催し、これまでの企画展は56回を数え、「小さなまちの大きな国際交流」を標榜しながら、モンゴルの歴史や文化を広く紹介してきました。

平成23年度は、東日本大地震とそれに伴う原発事故、また近畿地方の豪雨災害などが発生。特に福島県の原発事故による放射汚染は、地震・津波災害に加え、目に見えない敵とののかつて経験したことのない戦いに遭遇、エネルギー政策の見直しや、大規模な節電対策など、便利さにどっぷり浸かった、現代の生活様式のあり方を考えさせられる事故でした。

入館者数は、景気低迷等による観光客の減少、チューリップ祭の会場変更や悪天候による観客減などもあり、前年度より1,070人9.2%の減少となりました。

博物館本来の使命である文化振興はもちろんですが、地域の拠点としての日本・モンゴル民族博物館を目指します。

平成24年3月31日

日本・モンゴル民族博物館

館長 植田 政 由



2011 但東冬の光フェスタにてPR

目 次

I. 平成 23 年度概要・・・・・・・・・・3

II. 展覧事業・・・・・・・・・・3

1. 常設展
2. 企画展

III. 資料収集保存事業・・・・・・・・・・5

1. 寄贈
2. 資料の貸出
3. 資料の燻蒸

IV. 普及教育事業・・・・・・・・・・5

1. 出前授業
2. 体験教室・講座の開催
3. イベントの開催
4. 博物館実習生の受入
5. 情報の発信と公開

V. 国際交流事業・・・・・・・・・・8

1. モンゴル国との国際交流
2. モンゴル国研修生の受入（中学生の友好交流）
3. 開館 15 周年記念事業の開催

VI. 管理運営・・・・・・・・・・11

1. 組織・職員
2. 予算の概要（決算額）
3. 利用状況
4. 施設管理
5. 博物館協力会
6. 各種委員会委員等の受諾
7. 博物館ネットワーク
8. 博物館日誌抄
9. お客様の声から抜粋
10. 日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に
関する条例
11. 施設概要
12. 交通案内
13. 利用案内

I. 平成 23 年度概要

平成 23 年度は開館 15 周年の年であり、その記念事業として、モンゴル民族音楽芸術舞踊団公演「草原のそよ風」を出石ひぼこホールで開催し 300 人を超す入場者で好評のうちに終えることができた。同国の現状や芸術の解説を加えながらの進行で、来場者もモンゴルに対する認識が幾分でも深まったのではないと思われる。

また、通常の業務は、展示活動や資料収集・調査・施設管理・教育普及活動を中心に取り組んだ年であった。また、当館を取り巻く環境としては、さまざまな関係機関との連携をより密にするよう活発に活動した年でもあった。

利用者数については、昨今の景気低迷と異常気象などを反映し、対前年度比 9.2%、1,070 名減となった。

特に、会場が変更されたチューリップまつり期間の 4 月中入館者数 1,490 名の減少などが、主な原因と考えられる。豊岡市の厳しい財政事情の中で、今後の大きな課題となる。

展示事業では、「草原のメロディー」「但東とモンゴルとの交流」「機と紋紙」の、さまざまな分野の企画展を 3 回開催した。

なお、教育普及活動や文化財保護活用事業についても、前年度に引き続き積極的に行っている。

国際交流事業については、モンゴル交流研修生等受入事業として、同国から中学生 6 名と引率者 2 名を受け入れ、町内 4 家庭でのホームステイをはじめ、秋祭りなど地元行事への参加、また市内の但東、竹野、森本中学校への体験入学で、大いに交流を深めた。

II. 展覧事業

1. 常設展

(1) 常設展の構成

博物館の常設展示は、A 棟のたんとうの森、B 棟のアジアの歴史と風土・モンゴル草原のいのり、C 棟のモンゴル草原の暮らしと文化、伝承文化体験交流館の豊岡市たんとうの暮らしから構成されている。

- ① たんとうの森……人口樹林を配し、平安時代前期の朽木仏像 5 体を展示
- ② アジアの歴史と風土……新石器時代から近代に至るまでの歴史資料を展示
- ③ モンゴル草原の暮らしと文化……ゲルとよばれる移動式住居を中心に衣・食・住など様々なテーマに分けて展示
- ④ モンゴル草原のいのり……チベット仏教の寺院を再現し、仏像・仏具等を展示
- ⑤ 伝承文化体験交流館……山里の暮らしと文化をテーマに、豊岡市但東町の歴史・住まい・暮らし・民話などを展示

(2) 常設展の更新

当館では、開館 10 周年に企画した特別展を契機に、常設展の大幅な更新を行い、より利用しやすいよう工夫を実施してきた。平成 20 年度からは、部分的な手直しにとどめている。

平成 23 年度は、次のような部分について実施した。

- ① モンゴル草原の暮らしと文化
カザフの民族資料の一部の展示替え、大型写真パネル（壁面）の変更
- ② アジアの歴史と風土
福田コレクション（元館長、福田芳郎氏寄贈のオリエンタル美術）の展示コーナー新設。

(3) 屋外展示

- ① 山羊小屋
小屋及び周囲の柵が老朽化で損傷したため屋根を修理し、周囲に補強ネットを張って修繕した。
- ② 騎馬像（チンギス・ハーン）の修理、塗り直し
- ③ オボの修理

(4) 展示解説の積極的な促進

展示資料をより深く理解いただくため、職員による館内のガイドを促進している。利用者一人一人のニーズに合った解説を職員が行うことで、更に博物館を楽しんでいただきたいと従前より行ってきた活動であるが、平成17年度以降はより積極的に取り組んでいる。館内見学の一助となれるよう、利用者の興味や目的に沿った柔軟な解説を心がけている。

また、利用者からのアンケートを取り、要望がある場合はそれに沿えるよう努力している。

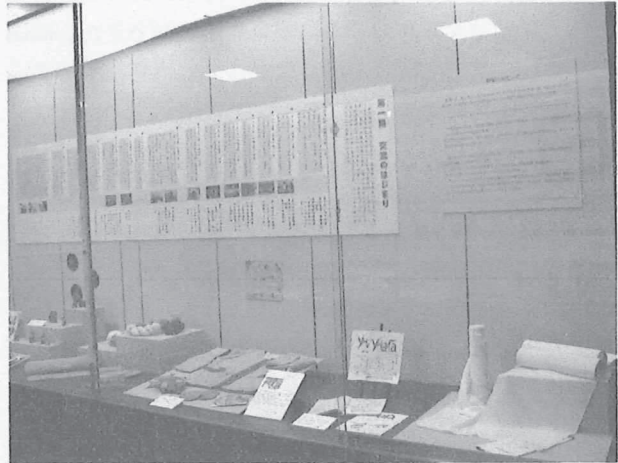
(2) 第55回企画展

但東とモンゴルとの交流～シルクが結ぶ25年～

平成23年9月1日～平成24年1月17日

114日間（見学者数3,250人）

旧但東町から続いている、モンゴルとの交流のきっかけと25年のあゆみを紹介した。



第55回企画展 展示風景

2. 企画展

(1) 第54回企画展

草原のメロディー ～響きわたるモンゴルの音楽～

平成23年4月7日～平成23年8月30日

103日間（見学者数4,912人）

大草原の国モンゴルに歌い継がれてきたメロディー。伝統的な民族音楽、西洋化が進む20世紀はじめの音楽、そして、現代の流行音楽と時代とともに移り変って来たモンゴルの音楽を紹介した。

(3) 第56回企画展

機と紋紙～ドットが描く意匠の世界～

平成24年1月19日～平成24年5月15日

103日間（見学者数4,912人）

当地の地場産業のひとつである但馬ちりめんを取り上げ、中でも、ちりめんの地紋を織り出す、機と紋紙に焦点をあて、意匠の世界を紹介した。

第54回企画展

草原のメロディー

響きわたるモンゴルの音楽

2011年
4月7日(木)～8月30日(火)

大草原の国に語り継がれてきたメロディー。本展では伝統的な民族音楽、西洋化が進む20世紀はじめの音楽、そして現代の流行音楽と、時代とともにうつりかわってきたモンゴルの音楽を紹介いたします。

会場：日本・モンゴルの民族博物館企画展示室
観覧時間：9:30～17:00（最終入場は16:30）
休館日：休館日（9/29は臨時休館、休館日の場合はその翌日）
入場料：大人300円（65歳以上250円）/中学生200円
※エコロンカード利用可・名額割引あり
主催：財団法人日本モンゴロソシエティ

日本モンゴロ民族博物館
〒658-0345 兵庫県豊岡市佐々木711
TEL: 0796-56-1202 / FAX: 0796-56-1222
http://www.monkoku.or.jp/museum/index.html

第54回企画展チラシ



第56回企画展 展示風景

Ⅲ. 資料収集保存事業

当館が所蔵している資料は約2万点以上に及ぶ国内外の資料で構成されている。寄贈されたモンゴル民族資料1万5千点、考古資料5千点を基礎資料としながら、旧但東町民俗資料館が収集保管してきた資料、また個人が大切に保管されていたもので寄贈又は寄託いただいたもの、モンゴル国内や全国各地から寄贈いただいた資料を収蔵している。

資料の収集は、寄贈・寄託・購入・採集・交換など、さまざまな方法で行っている。当館は郷土やモンゴルの自然や歴史・民族・文化に関する資料を収集するとともに、それぞれの分野でのテーマに応じ、比較資料となる国内外の資料も収集対象としている。

1. 寄 贈

(1) 図書寄贈者一覧（敬称略・順不同）

【個人】

- 河本 美絵子（神戸市）
- 金津 智洋（宮城県石巻市）
- 佐藤 紀子（在大阪モンゴル国名誉領事）
- 瀬崎 彊（豊岡市日高町）

【団体】

- 日本玩具博物館（姫路市香寺町）

2. 資料の貸出

- ① 豊岡市立出土文化財管理センター
城ヶ谷窯跡出土須恵器片一括
- ② スーチンドロン
民族衣装2点、帯2点、帽子3点、マネキン2点、靴1点
- ③ 豊岡市立新田小学校
馬頭琴1点、民族衣装2枚、帯2点、帽子2点、食品見本17点
- ④ 豊岡市立五荘小学校
馬頭琴1点、民族衣装4点、帯4点、帽子4点、食品見本14点
- ⑤ 但馬国府・国分寺館
貨幣5種類10点

3. 資料の燻蒸

平成23年度は、それぞれ年2回ずつ、クリーン有限会社にて全館を対象にピレスロイド系殺虫剤、有機リン系乳剤を噴霧し、殺虫・防虫処理をした。

また、収蔵庫内においても年3回蒸散剤を設置し殺虫・防虫処理を実施している。

Ⅳ. 普及教育事業

1. 出前授業

学校からの依頼に応じて、学校での授業に職員を派遣する出前授業を平成12年度から実施している。授業では教員と協同し持参した博物館資料を活用するなど、児童・生徒の理解を助けるよう工夫した。

今年度は、市教育委員会の方針に沿い豊岡市内の小学校、22校を対象に出前授業を実施した。

- ① 7月12日 豊岡市立八代小学校 5年生15名
「スーホの白い馬」
- ② 1月13日 豊岡市立豊岡小学校 2年生82名
「スーホの白い馬」
- ③ 1月16日 豊岡市立日高小学校 2年生86名
「スーホの白い馬」
- ④ 1月17日 豊岡市立寺坂小学校 2年生4名
「スーホの白い馬」

- ⑤ 1月20日 豊岡市立中竹野小学校 2・3年生 20名
「スーホの白い馬」
- ⑥ 1月23日 豊岡市立福住小学校 2年生 31名
「スーホの白い馬」
- ⑦ 1月24日 豊岡市立高橋小学校 1・2年生 10名
「スーホの白い馬」
- ⑧ 1月27日 豊岡市立城崎小学校 2年生 25名
「スーホの白い馬」
- ⑨ 1月30日 豊岡市立八条小学校 2年生 51名
「スーホの白い馬」
- ⑩ 1月31日 豊岡市立静修小学校 2・3・6年生 27名
「スーホの白い馬」
- ⑪ 2月6日 豊岡市立八代小学校 2・3年生 20名
「スーホの白い馬」
- ⑫ 2月13日 豊岡立三江小学校 2年生 26名
「スーホの白い馬」
- ⑬ 2月14日 豊岡市立府中小学校 2年生 35名
「スーホの白い馬」
- ⑭ 2月17日 豊岡市立港東小学校 2年生 14名
「スーホの白い馬」
- ⑮ 2月21日 豊岡市立田鶴野小学校 2年生 27名
「スーホの白い馬」
- ⑯ 2月23日 豊岡市立小坂小学校 2年生 18名
「スーホの白い馬」
- ⑰ 2月24日 豊岡市立奈佐小学校 2年生 14名
「スーホの白い馬」
- ⑱ 2月28日 豊岡市立中筋小学校 1・2年生 32名
「スーホの白い馬」
- ⑲ 3月5日 豊岡市立西気小学校 1～4年生 27名
「スーホの白い馬」
- ⑳ 3月6日 豊岡市立小野小学校 2年生 8名
「スーホの白い馬」
- ㉑ 3月12日 豊岡市立港西小学校 1・2年生 15名
「スーホの白い馬」
- ㉒ 3月13日 豊岡市立清滝小学校 2年生 19名
「スーホの白い馬」

2. 体験教室・講座の開催

開催日、教室、講座名、参加者数の順に記載

- ① 7月23日 お絵かき風鈴づくり 12名
- ② 7月30日 モザイクで絵をかいてみよう 5名
- ③ 8月4日 松ぼっくりでキャラクターを作ろう 21名
- ④ 8月6日 つくって遊ぼう～ビー玉万華鏡～ 18名
- ⑤ 8月9日 マグカップに絵をかこう 7名
- ⑥ 8月20日 いけばな教室 4名

合計 6講座 67名

3. イベントの開催

● 3月3日 まるごとモンゴル雛まつり

当日は、モンゴル人演奏家2名による馬頭琴、ドムブラの演奏、またNPO法人北方アジア交流センターしゃが代表の西村幹也さんのモンゴルトーク、民族衣装の試着、お菓子のすくい取り、競馬ゲームなど、約230名の親子連れなどでにぎわった。



出前授業の様子



賑わうロビーの様子

4. 博物館実習生の受入

当館では、大学からの依頼により、博物館実習生を受け入れている。博物館実習のカリキュラムは下記のとおりで、博物館職員全員が指導にあたり、資料の整理や調査方法などについて実習を行っている。

【主な実習内容】

ガイダンス、博物館の管理と運営、館内施設見学、受付実習、資料の取り扱い、資料の写真撮影、展示解説実習、体験教室補助実習、他館類似施設の見学等。

本年度は、9月に実習生の受入を行った。

①神戸夙川学院大学 1名

9月1日～9月6日 6日間



事務局だより更新作業の様子



収蔵品撮影の様子

5. 情報の発信と公開

博物館を有効活用する利用者が増えるよう、博物館活動に関する様々な情報を発信していくことは博物館にとって重要な活動の一つである。最近はインターネットによる情報発信も重要な手段になっている。

博物館の事業の広報に留まらず、様々なメディアを通じて積極的に情報を発信するよう努めている。

(1) 博物館の広報活動

- ① 博物館案内等の主な定期発送先
小学校 190校 中学校 70校 高等学校 11校
報道関係機関等 9社
- ② 報道機関への情報提供
- ③ 旅行会社への情報提供
- ④ 2011 但東冬の光フェスタ（商工会主催）に初めて参加。来場者にモンゴルのお茶や菓子を無料提供。

(2) インターネットによる情報提供

- ① 電子メール
- ② ホームページ
インターネット利用者の増加に伴い、博物館でもその技術を活用した情報提供の可能性を探ってきた。平成 11 年 8 月 16 日からホームページを開設している。

<http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

ホームページの内容は下記のとおりである。

- ・博物館の沿革と経緯
- ・交通案内・利用案内
- ・収蔵資料
- ・展示室紹介
- ・国際交流
- ・イベント情報
- ・ミュージアムショップのご案内

ホームページの更新や追加は毎月の催し物案内のように定期的に行うもののほか、各担当により随時行っている。

V. 国際交流事業

1. モンゴルとの国際交流

モンゴル国との交流については、研修生の受入、友好訪問使節団の派遣、豊岡市国際交流事業の協力支援、各種イベントの開催など、多くの方との関わりのもと継続して行っている。

平成23年度については、開館15周年記念事業として、モンゴル民族芸術音楽舞踊団公演「草原のそよ風」を、10月27日出石「ひぼこホール」で300人を超す観客で盛大に開催することができた。

① 9月2日

S. ラドナーバザル氏（モンゴル国、セレンゲ県県民代表者会議委員）来館

② 2月28日～3月4日

馬頭琴奏者ドルジパラム氏、ドンブラ奏者ケグルシン氏、NPO法人しゃがぁ理事長西村幹也氏の受入。滞在期間中にイベント「まるごとモンゴル雛まつり」の開催、ミニコンサート（市内の公民館、近隣観光施設等）の実施。

2. モンゴル国研修生の受入

（中学生の友好交流）

モンゴル国よりモンゴル・豊岡シルクロード友好協会のビヤムバツェツェグ事務局長とフブス県マルチン郡小中学校長Ts. バトブヤン氏のほか中学生6名を10月4日から11日までの8日間受け入れた。ホームステイ、地元行事への参加、但東中学校など、3中学校への体験入学、市内の視察などで、交流を深めた。

- 10/4 関西空港に到着・入国、ウエルカムパーティー
- 10/5 市長、議長、教育長表敬訪問、竹野海岸でスノーケルを体験
- 10/6 但東中学校に体験入学、城下町出石の散策
- 10/7 竹野、森本中学校に体験入学、ホームステイ
- 10/8 日本・モンゴル民族博物館見学、町内の農家を訪問
- 10/9 ホームステイ（秋祭り等に参加）
- 10/10 市内の文化施設の見学、さよならパーティ
- 10/11 帰国

【モンゴル友好使節団中学生6名からの感想文】

※学年、年齢は来日当時

豊岡市が私にとっても気に入った。なんでかという、すべてが新鮮で独特でした。自然が、町が、建物が、料理がとか、たくさんもの。この中から、町が綺麗で山と川と統合していたのが良かった。またホームステイの皆さんと一緒にいろいろなところに行き、お寺、秋祭り、マリンワールドでのショー、海に潜って海の中の魚を見たなどが、とても気に入った。日本語で話せなかったの、日本語の勉強頑張って日本のお父さん、お母さんともう一度会いたいし、日本に留学したいです。日本のお父さん、お母さん、そして豊岡市の皆さん有難う。次回是非会いましょう。

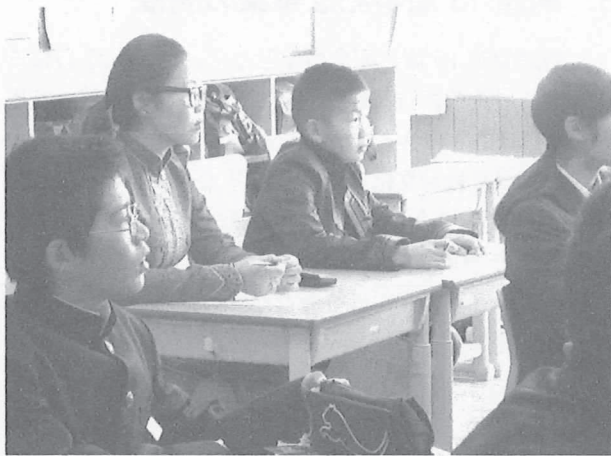
G. アナンドバト（中学7年生、12歳、男）



初めての海

こんにちは。日本に行けてとてもうれしかった。モンゴルと違った多くのものを発見しました。日本の自然環境がモンゴルと違った部分が多かったが、似た部分もありました。整備された綺麗な学校や広々と広がる海を見て日本人がすごいな、と思いました。海が日本にあったら家族と一緒にずっと歩きたく思いました。日本のお父さんが3日間、実のお父さんみたいに親切で、楽しかった。私たちが行った豊岡市の皆さんの親切さが“もし日本語が出来たら”と思われた。

B. テルメン（中学8年生、13歳、男）



但東中学校へ体験入学

私は豊岡市に行って、お辞儀や年配の方と丁寧に接している様子を見、街中にゴミがないことを見て、すごいなと思いました。日本人はいつもお互いに笑顔で幸せを与えてきたみたい。私たちが泊った、やまびこホテルのお姉さんたちは、いつもニコニコした表情だったので、私もうれしかった。学校の子どもたちが親切で、先生が分かりやすく楽しく教えて、子どもたちも積極的に参加していたのが印象的でした。豊岡市にモンゴルの博物館があり、チンギス칸の銅像があって面白かったです。私たちが親切に迎えてくれた皆さんありがとうございます。

B. オルホン (中学8年生、11歳、女)



森本中学校へ体験入学

初めて日本に、豊岡市に行けてとてもうれしかった。豊岡市の気温が穏やかで、人々がすごく親切でした。一番素晴らしかったのが海、前にこんなにたくさん水を見たことなかったので広くて偉大で美しかった。中・高卒業後、医者を目指して日本に留学したいです。

B. ガルマンダフ (中学7年生、12歳、女)



夢大地の見学 (野菜のハウス栽培)

豊岡市に行ってみたら、別々に一軒家が並びとても綺麗だった。学校が綺麗で、学校で昼食を食べるのがいいなと思いました。また、海に泳いで海の動物や海草を見てとても美しかった。日本人はみんな優しいと思いました。日本のお父さん、お母さん、ホテルと博物館の皆さんがとても親切でした。ご飯がすごく美味しいし、一番好きになったのは温泉でした。また、ゴミを選別するのがいいなと思いました。勉強頑張ってまた日本に行きたいです。皆さんありがとう。

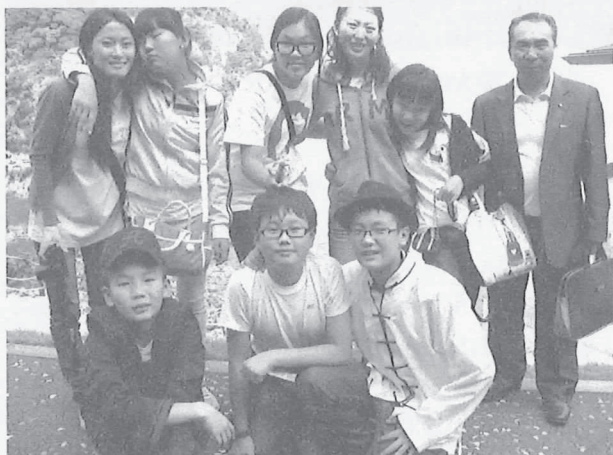
P. ノミン (中学7年生、12歳、女)



町内の秋祭りに参加

こんにちは。みなさんお元気ですか。僕は元気です。私の友達テルメンや、ほかの学校の4人の子達と一緒に豊岡市に行きました。豊岡市の人達は全員やさしくて仲の良い人達でした。僕は初めて海を見ました。それで秋祭もしました。とても楽しかったです。一番感じが良かったのは日本のけしきや人達です。ぼくが日本へ行った理由は、将来日本語の先生になるので、今からがんばっている。このゆめをかなえるために、日本に行ってみればもっと良くなるだろうと思って行きました。今は、僕はもう一回日本へ行ってみたいです。日本にあるいい物がモンゴルにあったらいいな。例えば日本にあるきれいなけしき。日本にあるようなきれいな学校。豊岡市にいるこのとりがモンゴルにいるようになったらいいな。さいごに言うと僕達を日本に行く時たすけてくれた人達全員どうもありがとう。

L.ナムスライ(中学8年生、13歳、男)



城崎にて



さよならパーティーで集合写真

3. 開館 15 周年記念事業の開催

当館開館 15 周年記念事業として、10 月 27 日にモンゴル民族芸術音楽舞踊団公演「草原のそよ風」を出石「ひぼこホール」で開催。

モンゴル教育文化大学所属の「エヘシゲレン民族音楽舞踊団」17 名による、演奏、歌、舞踊、アクロバットなどで 300 人を超す観客を魅了した。モンゴルの現状説明等を幕間にはさみながらの進行で、同国に対する理解も少しは深まったのではないと思われる。



公演の様子

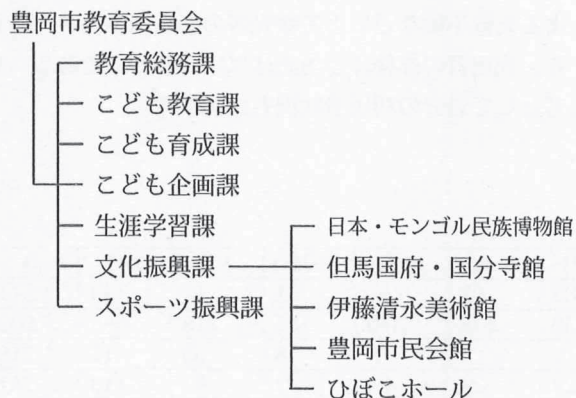


ソイルト学長へ花束贈呈

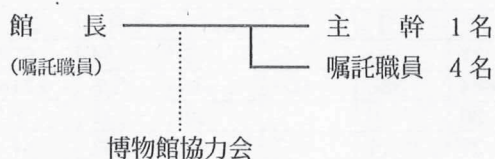
VI. 管理運営

1. 組織・職員（平成24年3月31日現在）

(1) 組織



顧問（福田 芳郎）



(2) 職員

館長	植田 政由（平成23年4月～）
（嘱託職員）	
主幹	宮嶋 裕之（平成23年4月～）
嘱託職員	渡辺 律子（平成8年11月～）
嘱託職員	柴田 明子（平成13年4月～）
嘱託職員	橋本真紀恵（平成17年4月～）
嘱託職員	二位 明子（平成17年4月～）

(3) 事務分掌

植田 政由	管理運営に関する事、講師の派遣に関する事、モンゴル国との国際交流、モンゴル関係団体との連絡調整、文化財の調査研究、文化財保護に関する事
-------	---

宮嶋 裕之	館の庶務、歳入歳出及び経理、企画展示、出前授業及び講師派遣に関する事、各種教室・講習会の開催
渡辺 律子	歳入歳出及び経理、受付及び案内、常設展示・企画展示に関する事、館内外の管理に関する事
柴田 明子	ミュージアムショップに関する事、受付及び案内、各種教室・講習会の開催、館内外の管理に関する事
橋本真紀恵	文書の管理、受付及び案内、博物館協力会に関する事、館内外の管理に関する事
二位 明子	文書の管理、受付及び案内、ホームページの管理、館内外の管理に関する事

2. 予算の概要（決算額）

単位：千円（百円以下四捨五入）

〔人件費〕 24,313

- ①報酬 9,895（嘱託職5名）
- ②給与 4,712（一般職1名）
- ③職員手当等 5,378（通勤手当510、時間外勤務手当405、期末手当3,170、勤勉手当583、住居手当19、こども手当144）
- ④共済費 4,328

〔管理費〕 10,095

- ①旅費 32（普通旅費）
- ②需用費 6,250（消耗品費246、燃料費121、印刷製本費280、光熱水費4,358、修繕料1,207、飼料費38）
- ③役務費 420（通信運搬費291、保険料等66、広告料63）
- ④委託料 2,029（電気保安点検375、自動ドア点検55、消防施設点検21、芝生管理200、清掃管理199、警備265、資料燻蒸200、除雪714）
- ⑤使用料 201
- ⑥工事請負費 1,138
- ⑦負担金 10

⑧公課費 15

〔事業費〕 2,922

- ①報償費 210
- ②需用費 1,024 (消耗品費 939、食料費 8、印刷製本費 77)
- ③役務費 70 (通信運搬費 70)
- ④委託料 1,580 (業務委託料 1,580)
- ⑤使用料 3 (著作権料 3)
- ⑥備品購入費 35 (事業用備品 35)

3. 利用状況

当館は平成 8 年 11 月 3 日に開館し、15 年目を迎え利用者は平成 24 年 3 月末累計で、381,197 名となった。平成 23 年度は開館日数が 309 日で、入館者が 10,553 名であった。

平成 23 年度利用者は前年度と比べ 9.2% の減少となった。原因としては、チューリップまつりの会場変更や悪天候等に入場者減、夏季の猛暑と冬季の豪雪による天候不順などによる観光客の落ち込みと考えられる。利用者の推移及び内訳は以下のとおりである。参考として過去の利用者状況も記載する。

【平成 19 年度 (開館日 :310 日)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協会の地区	236	134	261	342	161	94	103	67	51	31	12	49	1,541
一般	1,512	812	454	458	632	577	829	838	340	169	318	663	7,602
高大	10	12	2	16	48	57	10	4	6	8	33	12	218
小中	141	65	17	42	135	40	29	24	21	33	91	143	781
その他	1,591	341	244	362	840	528	672	679	342	365	380	650	6,994
計	3,490	1,364	978	1,220	1,816	1,296	1,643	1,612	760	606	834	1,517	17,136
1日平均	130	53	38	45	70	50	63	62	33	26	33	56	56

【平成 20 年度 (開館日 :307 日)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協会の地区	135	36	43	72	57	31	39	37	24	25	53	54	606
一般	1,461	617	283	300	535	535	685	684	386	169	535	528	6,718
高大	18	19	2	5	42	8	8	30	0	4	17	31	184
小中	158	76	5	15	82	28	48	27	11	17	42	62	571
その他	2,097	492	559	597	696	410	570	427	308	184	850	769	8,769
計	4,679	1,240	892	989	1,412	1,012	1,350	1,205	729	399	1,497	1,444	16,848
1日平均	180	46	34	38	52	39	52	46	32	17	62	53	55

【平成 21 年度 (開館日 :307 日)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協会の地区	83	30	23	36	25	33	50	22	17	45	40	50	454
一般	1,059	459	260	385	484	452	507	588	238	325	459	511	5,727
高大	15	9	19	5	26	13	2	28	5	10	10	8	150
小中	126	56	10	46	103	42	10	17	3	39	34	69	555
その他	2,851	389	442	577	539	537	380	480	206	406	450	448	7,705
計	4,134	943	754	1,049	1,177	1,077	949	1,135	469	825	993	1,086	14,591
1日平均	153	35	29	40	44	43	35	44	20	36	41	42	48

【平成 22 年度 (開館日 :308 日)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協会の地区	99	32	25	18	25	53	12	30	12	12	15	31	364
一般	1,077	459	467	370	383	190	255	497	258	103	252	340	4,651
高大	17	20	2	4	26	6	15	22	2	1	7	7	129
小中	97	49	3	30	49	6	10	10	9	13	40	39	355
その他	2,000	555	377	385	481	333	321	359	206	254	357	496	6,124
計	3,290	1,115	874	807	964	588	613	918	487	383	671	913	11,623
1日平均	118	41	35	30	36	24	23	35	21	17	28	35	38

【平成 23 年度 (開館日 :309 日)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力地区	40	40	23	45	49	40	30	35	14	16	14	30	376
一 般	796	463	190	188	335	206	393	376	160	165	193	397	3,862
高 大	12	7	2	2	19	9	14	1	2	3	2	10	83
小 中	60	29	7	14	59	8	7	7	2	23	19	44	279
その他	892	433	242	531	555	286	592	517	230	517	523	635	5,953
計	1,800	972	464	780	1,017	549	1,036	936	408	724	751	1,116	10,553
1日平均	67	36	19	29	39	21	38	37	17	30	31	41	34

4. 施設管理

(1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理を但東町シルバー人材センターに年間委託している。本年度はボランティアで行っていただいた活動も含め3回の雑草除去作業を行った。

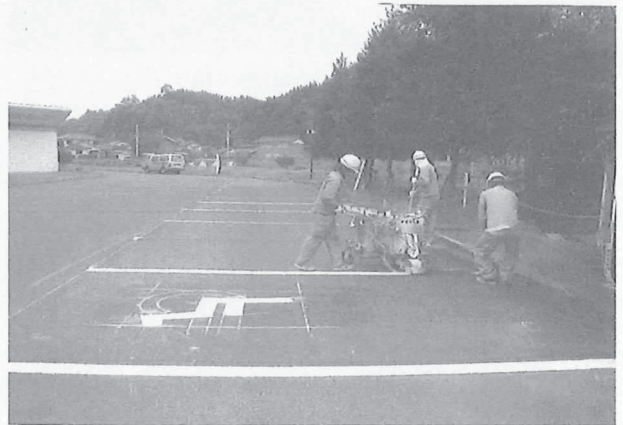
また、博物館協会や近隣地区の皆さんにも芝生や植木の管理などの館外の美化に協力をいただいた。



シルバー人材センター草刈作業

(2) 補修工事

① 駐車場の白線新設、補修工事 (平成 23 年 11 月)
来館者の車両駐車のため、博物館前の駐車場と体育館前の駐車区画白線を引き直した。



区画線設置工事

② 旧直売施設小屋撤去工事 (平成 23 年 11 月)

駐車場の側溝上にある小屋が老朽化のため撤去した。



販売所の解体作業

③ 正面通路の点字ブロックの張替え

(平成 23 年 11 月)

来館者の通行の安全のため、点字ブロックを張替えた。



点字ブロック設置工事

④ 緑のエコカーテン設置 (平成 23 年 6 月)

A 棟西側の図書コーナーは全面ガラス張りとなっているため、夏になると常に日差しが強く入り込む状態である。夏季のみ、ゴーヤによる壁面緑化「緑のエコ・カーテン」を 40m にわたって施工した。エコ・カーテンは直射日光を遮り、見た目にも涼しく、エアコンの電気代節減、CO2 削減にもつながるものである。



ゴーヤのエコカーテン

⑤ 騎馬像の修理、塗り替え、オボアの修理 (平成 24 年 3 月)



修理・塗り替えられた騎馬像

5. 博物館協力会

博物館協力会は当館が位置する資母地区の住民から「いつまでも美しい建物にしよう」という声上がり、加藤廣巳氏と塩川剛三氏の呼びかけで、平成 9 年 2 月 10 日に発足した。会長は博物館が位置している如布区長がこれにあたり、周辺地域の区長や各団体の長が理事として連なる。また、資母地区選出市議会議員、博物館OBが顧問となる役員構成になっている。

平成 23 年の活動内容は以下のとおりである。

(1) 役員

会 長 水口亮二 常任理事 塩川剛三
理 事 12 名 顧 問 7 名

(任期:平成 23 年 1 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

(2) 活動内容

① 各種事業への協力

博物館開館 15 周年記念事業として開催したモンゴル民族音楽芸術舞踊団公演のチケット販売協力をはじめ、各種開催事業への協力をいただいた。

② 役員会の開催

4 月 29 日に博物館主催による役員会を開催し、博物館の現状説明と運営に対しての協力依頼を行った。

④ 芝生広場除草ボランティア

敷地内芝生広場の除草や、ゆすら梅の植栽ボランティアを行っていただいた。

6. 各種委員会委員等の受諾

平成 23 年度に博物館職員が委嘱を受けた各種委員会、協会役員等は次のとおり。

植田 政由

① 兵庫県博物館協会理事

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日まで)

7. 博物館ネットワーク

(1) 兵庫県博物館協会

兵庫県内の博物館・美術館・資料館で構成され、平成 24 年 3 月末で 140 館 が加盟している。県立歴史博物館が事務局館を務めている。

平成 23 年 5 月 31 日 第 1 回理事会
 平成 23 年 6 月 10 日 総会、第 1 回研修会
 平成 23 年 10 月 4 日 第 2 回研修会
 平成 23 年 10 月 18 日 第 2 回理事会
 平成 24 年 2 月 21 日 研究会
 ホームページでの夏休み子ども向けイベントの紹介
 展覧会案内情報更新
 はくぶつかんガイドの作成・配布
 ホームページの更新

(2) 但馬地域博物館連絡会

兵庫県北部に位置している但馬管内の博物館施設が相互協力して博物館活動の振興を図るため、平成 9 年 4 月 25 日に設立され、平成 23 年 3 月末現在では 18 館が加盟している。当館は平成 9 年 4 月に加盟し、その後、幹事館となり、平成 18 年 6 月から平成 21 年 8 月まで事務局担当、その後は監事を務めていたが、平成 23 年度からは、役職なしとなっている。

平成 23 年 5 月 17 日 役員会
 平成 23 年 6 月 24 日 総会
 平成 23 年 9 月 6 日 臨時総会
 平成 23 年 10 月 18 日 学習会、懇談会
 平成 24 年 1 月 10 日 懇談会
 平成 24 年 3 月 19 日 ジオパーク研修会
 各館・園のパンフレット・ポスター等の相互配布・
 掲示
 各種学校校園長会等での啓発
 ミュージアムマップ (21 年度作成分) の配布
 博物館活用プログラムの検討・冊子作成 (今年度は
 準備期間)
 未加盟館へのはたらきかけ

8. 博物館日誌抄

平成 23 年度の主な出来事を日報から抜粋して記載する。

4 月 6 日 企画展の展示替
 4 月 15 日 但東チューリップまつり開園
 4 月 20 日 豊岡市議会文教常任委員会視察来館 (9 名)
 4 月 26 日 豊岡市立美術館等の 4 館館長会議
 たんとうチューリップまつり開園
 5 月 8 日 協力会が、ユスラ梅の植樹作業を実施
 5 月 13 日 豊岡市各地区公民館主事 10 名が見学に来館
 5 月 17 日 但馬地域博物館連絡会理事会に出席 (館長)

5 月 20 日 オボーの木材を取替え
 5 月 24 日 市内の高校を訪問し、モンゴル演奏会事業の
 取り組みを要請 (館長ほか)
 5 月 30 日 台風に伴う豪風雨警報発令につき、町内文化
 財のパトロール
 5 月 31 日 県地域博物館連絡会理事会に出席 (館長)
 6 月 2 日 市内の高校を訪問し、モンゴル演奏会事業の
 取り組みを要請 (館長ほか)
 6 月 10 日 県博物館連絡会総会に出席 (館長ほか)
 6 月 14 日 豊岡市国際交流協会但東支部役員会 (館長ほ
 か)
 6 月 20 日 ゴーヤのエコカーテンを設置
 6 月 24 日 但馬地域博物館連絡会総会出席 (館長ほか)
 7 月 3 日 如布区が博物館の草取り作業を実施
 7 月 12 日 (財) 東方研究会研究員田中公明氏がチベッ
 ト仏教関係資料の調査に来館
 7 月 23 日 子ども体験教室 (お絵かき風鈴)
 7 月 31 日 夏休みミュージアムコンサート
 (福井則之氏ほかの馬頭琴、ホーミー)
 8 月 28 日 日本・モンゴル民族博物館 15 周年記念公演
 事業のポスター、チケット販売依頼 (館長ほ
 か)
 8 月 31 日 企画展の展示替
 9 月 1 日 博物館実習大学生男子、1 名受け入れ
 (9 月 6 日まで)
 9 月 2 日 S. ラドナーバザル氏 (モンゴル国) 来館
 9 月 5 日 文化財パトロール (台風災害は無し)
 9 月 6 日 但馬地域博物館連絡会臨時総会 (館長ほか)
 10 月 3 日 モンゴル研修中学生の受け入れ家庭訪問
 10 月 4 日 モンゴル研修中学生ウエルカムパーティ
 (於、やまびこ)
 10 月 6 日 神鋼ソリューション、関谷氏、大野氏、豊岡・
 モンゴル友好協会副会長デムベレル氏来館
 10 月 8 日 来豊中のモンゴル中学生等 9 名来館
 10 月 10 日 モンゴル研修中学生さよならパーティー
 (於、やまびこ)
 10 月 11 日 モンゴル研修中学生等帰国
 (館長ほか送り)
 10 月 18 日 但馬地域博物館連絡会研修会出席 (館長)
 10 月 19 日 大阪モンゴル領事館へ P R 訪問 (真野副市長、
 館長、宮嶋)
 10 月 27 日 開館 15 周年記念事業 モンゴル民族芸術音楽
 舞踊団公演「草原のそよ風」(於、出石ひぼ
 こホール)
 10 月 28 日 在日モンゴル人留学生 6 名来館
 但東町奥水根の水路でオオサンショウウオの
 発見通報があり、チップを付けて放流 (国分

寺館職員が実施)

- 11月20日 農産物直売所建物の解体作業を実施(業者委託)
- 11月24日 防火管理者講習会(館長)
～ 25日
- 11月26日 但東冬の光のフェスタに参加(市総合支所前広場)
- 12月13日 篠山市「モンゴルの里」へ視察(館長ほか)
- 12月18日 子ども体験教室(マグカップづくり)
豊岡市立各博物館等館長会議
- 12月27日 博物館消防訓練
博物館仕事納め
- 1月10日 但馬地域博物館連絡会(館長ほか)
- 1月18日 企画展の展示替
- 1月19日 朝来市立生野小学校(28名)来館
- 1月20日 豊岡市立資母小学校3年(9名)来館
- 2月2日 豪雪災害警戒本部を設置
- 2月14日 京丹後市立川上小学校(5名)、海部小学校(10名)来館
- 2月16日 京丹後市立久美浜小学校(25名)来館
- 2月17日 本館野外の飼育棟で飼育していたヤギが一匹死亡
- 2月24日 京丹後市立湊小学校(12名)、田村小学校(10名)、神野小学校(13名)来館
- 2月27日 豊岡市立弘道小学校(41名)来館
- 2月28日 京丹後市立島津小学校(15名)来館
- 3月1日 京丹後市立長岡小学校(13名)、大宮第一小学校(88名)来館
午後/遊牧の民の調べコンサート(会場:日高農村環境改善センター)(館長ほか)
- 3月2日 豊岡市立各博物館等館長会議
- 3月3日 まるごとモンゴル雛まつり開催(馬頭琴、ホーミー演奏会)
- 3月8日 京丹後市立新山小学校(33名)来館
- 3月22日 但馬博物館連絡会研修会(館長ほか)
- 3月29日 (社)日本モンゴル協会板橋支部 下山田芳子支部長(東京都)来館
- 3月31日 東京外国語大学大学院生水谷東洋氏来館
館内に自動販売機(コカ・コーラ)設置

9. お客様の声から抜粋

以下は平成23年度の来館者の声を抜粋したもので、博物館職員として真摯に受け止め今後の運営に活かしたいと考えている。

◎4月17日 兵庫県豊岡市(男性)

子どもでもわかるような所を作ってほしい。プレーリードックを見たかった。ゲルの中に入れて楽しかった。いしょうもきれてうれしかった。

◎4月22日 兵庫県加古川市(女性)

モンゴルが大好きです。12年前モンゴルへ行き、騎馬トレッキングをしました。今日また、モンゴルを思い出し、行きたくくなりました。

◎4月23日 兵庫県豊岡市(女性)

いつも勉強させてもらっています。静かなのでよくはかどります。また、来ます。

◎4月25日 兵庫県豊岡市(女性)

本がおもしろかった。また、来たい。

◎4月25日 京都府京都市(男性)

モンゴルのいろいろなことを知れてよかった。モンゴルの服を着てよかった。

◎4月30日 兵庫県加古川市(女性)

楽しかったです。とても展示がおもしろかったです。ありがとうございました。

◎4月30日 兵庫県豊岡市(女性)

初めてモンゴル博物館に来てみて、すごく楽しかったです。何度聞いてもすごく楽しくなりそうで、またきたいです。

◎5月3日 兵庫県丹波市(女性)

楽しかったです。また来たいです。

◎5月3日 京都府福知山市(女性)

モンゴルのくらしと歴史をみたり、されたりできて楽しかった。

◎5月9日 京都府福知山市(女性)

とてもよかったです。学校みんなに「モンゴルはくぶつかんまた、いってね」と言っておきます。

◎5月9日 兵庫県豊岡市(女性)

中には入って、パソコンや、がっきや、さかながあって、すごくおもしろそうだとおもいました。また、みたいです

◎7月10日 京都府京丹後市(女性)

モンゴルのいろいろな事がわかりました。中でも、ゲルの形は風がふつうに通るようにつくられているのが、すごいと思います。

◎7月28日 奈良県奈良市(女性)

プレーリードックが可愛かったです。モンゴルのくら

しを体験できるのが、とても良いと思います。

◎ 7月28日 茨城県龍ヶ崎市 (女性)

本物があったのでとてもわかりやすかったです。とても勉強になりました。

◎ 8月5日 滋賀県大津市 (女性)

よくわかりました。自由研究にまた来たい。

◎ 8月7日 兵庫県篠山市 (女性)

子供が「スーホの白い馬」を読んで馬頭琴をみたいと言うので、知人からこの場所を聞いて来ました。きれいな音や、と言って喜んでおりました。

◎ 8月8日 兵庫県豊岡市 (女性)

とても良かったです。これからも来たいです。

◎ 8月9日 兵庫県豊岡市 (女性)

モンゴルのことや、日本の昔の事がよく知れた。

◎ 8月21日 京都府亀岡市 (女性)

とてもわかりやすかったです。また、ここに来て勉強したいです。

◎ 10月10日 兵庫県姫路市 (女性)

初めて来ましたが、びっくりしました。

◎ 10月10日 京都府京都市 (女性)

モンゴルの昔のふうけいが見れたし、衣しょうがきれでよかったです。

◎ 10月16日 大阪府大阪市 (男性)

始めて来ました。大変楽しかった。

◎ 10月20日 大阪府高槻市 (男性)

大変興味深いものでした。モンゴル関連のDVDの試聴ができるのが嬉しい。「モンゴル祭」を開催してはどうか。

◎ 11月5日 京都府亀岡市 (男性、60歳代)

はじめて来ましたが、とても楽しく勉強させていただきました。民族衣装をそれぞれ着せてもらい若返りました。昔の暮らしもなつかしく拝見致しました。

◎ 11月14日 大阪府大阪市 (女性)

プレーリードックが見られないのが残念です。モンゴルの歴史・衣食住がわかりやすく展示されていて、大変勉強になりました。

◎ 1月17日 兵庫県豊岡市 (女性)

5回以上来ていますが、知らないことがたくさんありました。有難うございました。

◎ 1月17日 兵庫県豊岡市 (女性)

モンゴルについていろいろ知ってよかったです。服なども着れてよかったです。新しい知識を知ることができてうれしかったです。特に職員2人の接し方がいいな、と思いました。楽しかったです。有難うございました。

◎ 1月28日 兵庫県豊岡市 (女性)

子供の国語で「スーホの白い馬」で、馬頭琴とは、どんな楽器か？目で見せてやりたくて来ました。他にもモンゴルの生活がわかって良かったです。勉強になりました。

た。

◎ 2月13日 大阪府大阪市 (女性)

モンゴル衣装で記念写真をとれたこと、本当に良い思い出になりました。

◎ 3月3日 京都府綾部市 (女性)

ちょうど学校で勉強していたので、本物の馬頭琴が見れてよかったです。音も聞けたしさわることでもできてうれしかったです。学校で「スーホの白い馬」のげきもしました。ぶたいの上で一人で歌を歌いました。

◎ 3月18日 京都府京丹後市 (男性)

おねえさんありがとうございました。馬頭琴がひけてうれしかったです。

◎ 3月18日 兵庫県養父市 (女性)

初めて来ました。たくさんの資料があり、家に持って帰ってもう一度見たいと思います。

◎ 4月10日 兵庫県加古川市 (男性)

企画展「機と紋紙」は但馬ちりめんの歴史、現状の問題点等々がよく理解できる内容で、参考になりました。意匠という先達の教えが姿を変えて現代に息づいていることに感銘しました。

◎ 4月30日 兵庫県三田市 (女性)

美しく整備されているし、関心があったので、見ることができて本当によかった。民族衣装も孫に着せることができ、良い思い出でになりました。有難うございました。

◎ 4月30日 京都府 (女性)

ゲルの内部の様子が興味深かったです。また、但東町の民家の内部がとても懐かしく一つ一つにフムフムと昔を思い出させるようでした。不便なことのほうが多かったですが、人のぬくもりのある生活が実感できる生活が実感できる時代でしたね。

◎ 4月29日 京都府京丹後市 (女性)

めったに見られない、物を見てもう一回見に行きたいです。特にモンゴルの着物を着せてもらったのが楽しかったです。

◎ 4月29日 兵庫県高砂市 (女性)

私は、博物館が好きなのでとてもよかったです。ゲルは私も住みたいな、と思いました。悪いところはなかったです。また来たいです。これからはがんばってください。

◎ 4月29日 兵庫県加東市 (女性)

全部良かった。また、来たい。

◎ 5月3日 兵庫県丹波市 (男性)

心に残った。この人は、すごくいい人そう。

◎ 5月4日 兵庫県豊岡市 (男性)

昔の事典がいっぱいあって、おもしろかったです。

◎ 5月5日 兵庫県明石市 (女性)

「機と紋紙」の企画展は、初めて但馬ちりめんをじっくり見ることが出来て良かったです。

◎ 5月5日 大阪府大阪市（女性）

めっちゃ良かった。

◎ 5月6日 兵庫県豊岡市（女性）

ちりめんの再認識をさせていただきました。地域に伝わる展示はこれからも続けてほしいと思います。

◎ 5月12日 兵庫県加古川市（女性）

カメラOK、民族衣装試着撮影OKに感銘しました。朝青龍、白鵬両力士の手形と合わせてみたところ、案外、手は小さいと申しますか、普通の男性と大差の無いことに驚きました。

10. 日本・モンゴル民族博物館の設置 及び管理に関する条例

平成 17 年 4 月 1 日

条例第 179 号

改正 平成 19 年 12 月 26 日条例第 66 号

(設置)

第 1 条 市民文化を振興し、文化活動の拠点とするとともに、モンゴル文化及び郷土の生活文化の紹介、体験交流等を通して魅力ある地域づくりを図るため、日本・モンゴル民族博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 博物館の位置は、豊岡市但東町中山 711 番地とする。

(事業)

第 3 条 博物館は、第 1 条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館の資料の収集、保管及び利用に関すること。
- (2) 博物館の資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (3) 博物館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館の資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導をすること。
- (5) 博物館の資料に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- (6) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (7) 郷土の生活文化の紹介及び体験交流に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業

2 豊岡市教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、博物館の施設を、前項の事業の実施に支障のない限りにおいて、その目的以外の目的のために使用させることができる。

(職員)

第 4 条 博物館に、館長その他職員を置く。

(観覧料)

第 5 条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める額の観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第 6 条 博物館に展示し、又は保管している資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、教育委員会の許可を受け、1 点 1 回につ

き 2,000 円の範囲内で規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(使用の許可)

第 7 条 別表第 2 に掲げる施設を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、前項の許可に博物館の管理上必要な条件を付し、又はこれを変更することができる。

(許可の基準)

第 8 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第 1 項の許可をしてはならない。

- (1) 博物館の施設の使用が公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 博物館の施設の使用が博物館の建物、器具、備品等（以下「建物等」という。）を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがあると認めるとき。
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団その他反社会的団体又はそれらの構成員が使用すると認めるとき。
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、教育委員会がその使用を不適當であると認めるとき。

2 教育委員会は、博物館の管理上又は公益上支障があると認めるときは、前条第 1 項の許可をしないことができる。

(使用権の譲渡等の禁止)

第 9 条 第 7 条第 1 項の規定により施設の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第 10 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可を取り消し、又は施設の使用の制限をし、若しくは使用の停止を命ずることができる。

- (1) 使用者がこの条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- (2) 使用者が許可された使用目的以外の目的に施設を使用したとき。
- (3) 使用者が許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 使用者が詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。
- (5) 第 8 条第 1 項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

2 教育委員会は、博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたときは、使用者に対し、前項に規定する処分をすることができる。

(使用料の徴収)

第 11 条 市長は、第 7 条第 1 項の許可を受けてする施設の使用につき、使用者から、別表第 2 に定める使用

料を徴収する。

(観覧料等の減免)

第12条 市長は、公益上特に必要があると認めるときは、申請により、観覧料、特別観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第13条 既に納めた観覧料等は、還付しない。ただし、第10条第2項の規定により教育委員会が博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたとして同条第1項に規定する処分をしたとき、その他市長が特別の理由があると認めるときは、申請により、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限等)

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、博物館への入館を拒絶し、又は博物館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物品若しくは動物の類を携帯する者
- (3) 建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがある者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上必要な指示に従わない者

(行為の禁止)

第15条 何人も、博物館内において、博物館の管理上支障がある行為をしてはならない。

(原状回復の義務)

第16条 使用者は、博物館の施設の使用を終了したとき、又は第7条第1項の許可を取り消されたときは、直ちに施設を原状に回復しなければならない。

2 教育委員会は、使用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置を採るべきことを命ずることができる。

(損害の賠償等)

第17条 博物館の建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させた者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事情があると認めるときは、その賠償額を減額し、又はこれを免除することができる。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理運営に関する条例（平成8年但東町条例第21号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(観覧料の特例)

3 第5条の規定は、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの間においては、合併前の出石郡但東町の区域に居住する者が博物館を観覧するときは、適用しない。

附 則（平成19年12月26日条例第66号）

(施行期日)

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例別表第2の規定は、この条例の施行の日以後に使用許可を受ける者の使用料について適用し、同日前に使用許可を受けている者の使用料については、なお従前の例による。

別表第1（第5条関係）

区 分	観覧料（1人1回につき）		備 考
	個 人	20名以上の団体	
一 般	500円	450円	「一般」とは学生、中学生又は小学生以外の者で、15歳以上のものをいい、「学生」とは大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。
学 生	300円	250円	
小学生・中学生	200円	150円	

別表第2 (第7条、第11条関係)

区 分	使 用 料		
	午前9時から午後零時まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで
企画展示室	1,500円	2,000円	
体験交流室	1,200円	1,600円	1,600円
天幕住居(ゲル)	1基につき5,000円		
備考			
1 冷暖房を使用する場合は、この表に規定するそれぞれの額の3割に相当する額を加算する。			
2 電気釜の使用料は、1回当たり1,000円とする。			

11. 施設概要

(1) 本館建設概要

位 置 兵庫県豊岡市但東町中山711

基本設計 建物 井上良一建築設計事務所
 展示 株式会社さんよう

実施設計 建物 井上良一建築設計事務所
 展示 株式会社さんよう

工事施工 建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体
 展示 株式会社さんよう

工 期 建物 着工 平成7年12月14日
 竣工 平成8年8月12日
 展示 着工 平成8年5月7日
 竣工 平成8年10月30日

敷地面積 10,402.84㎡

建築面積 999.65㎡

構造概要 鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦葺
 立体トラス鉄骨(KTトラス)

各室面積 玄関ホール・たんとうの森 211.6㎡、収蔵庫1 54.6㎡、収蔵庫2 56.5㎡、荷解室 33.3㎡、多用途室 28.0㎡、事務室 33.3㎡、準備室 48.2㎡
 展示室「アジアの歴史」 75.7㎡
 展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」 206.8㎡
 展示室「チベット仏教」 37.7㎡
 企画展示室 74.4㎡
 シルクロード(回廊)1 13.3㎡、シルクロード(回廊)2 13.3㎡、シルクロード(回廊)3 12.6㎡、シルクロード(回廊)4 12.6㎡

建物規模 平屋建て 東西41.8m 南北42.5m
 地上高9.0m
 <外装> 複層吹付

仕 上 げ <内装> 床 : モルタル下地タイルカーペット貼
 壁 : 山本窯業化学テラックス、石膏ボード、化粧合板
 天井 : 杉小幅板、岩綿吸音板貼

(2) 伝承文化体験交流館建設概要

位 置 兵庫県豊岡市但東町中山711

基本設計 建物・展示 井上良一建築設計事務所

実施設計 建物・展示 井上良一建築設計事務所

工事施工 建物 株式会社マルテン
 展示 株式会社ナギサ建築工芸

工 期 建物・展示 着工 平成11年9月14日
 竣工 平成12年3月29日

敷地面積 317.57㎡

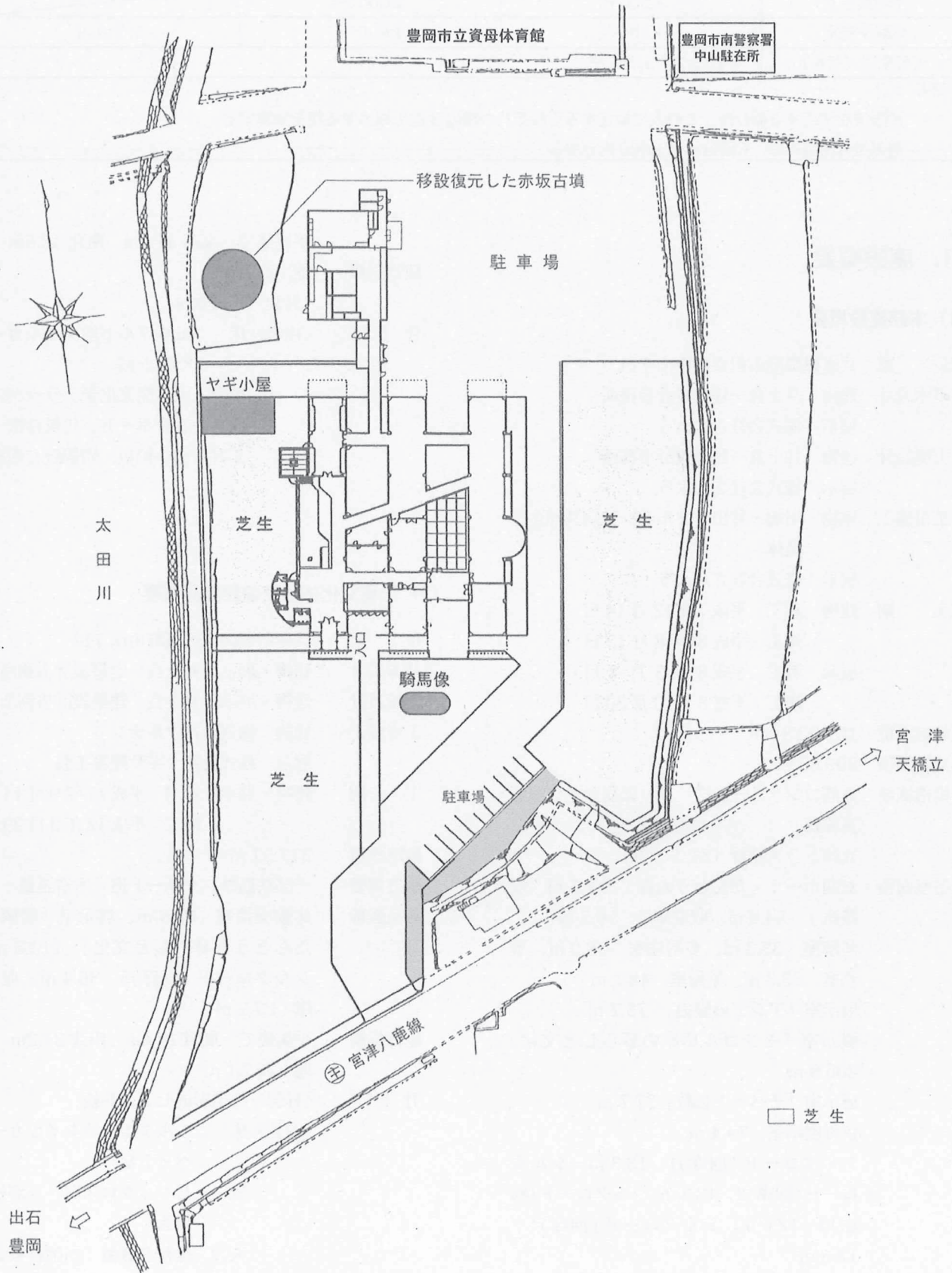
構造概要 一部鉄筋コンクリート造 木造瓦葺

各室面積 体験交流室 62.6㎡、展示室「豊岡市たんとうの暮らしと文化」 112.5㎡、シルクロード(回廊)5 36.4㎡、収蔵庫 27.2㎡

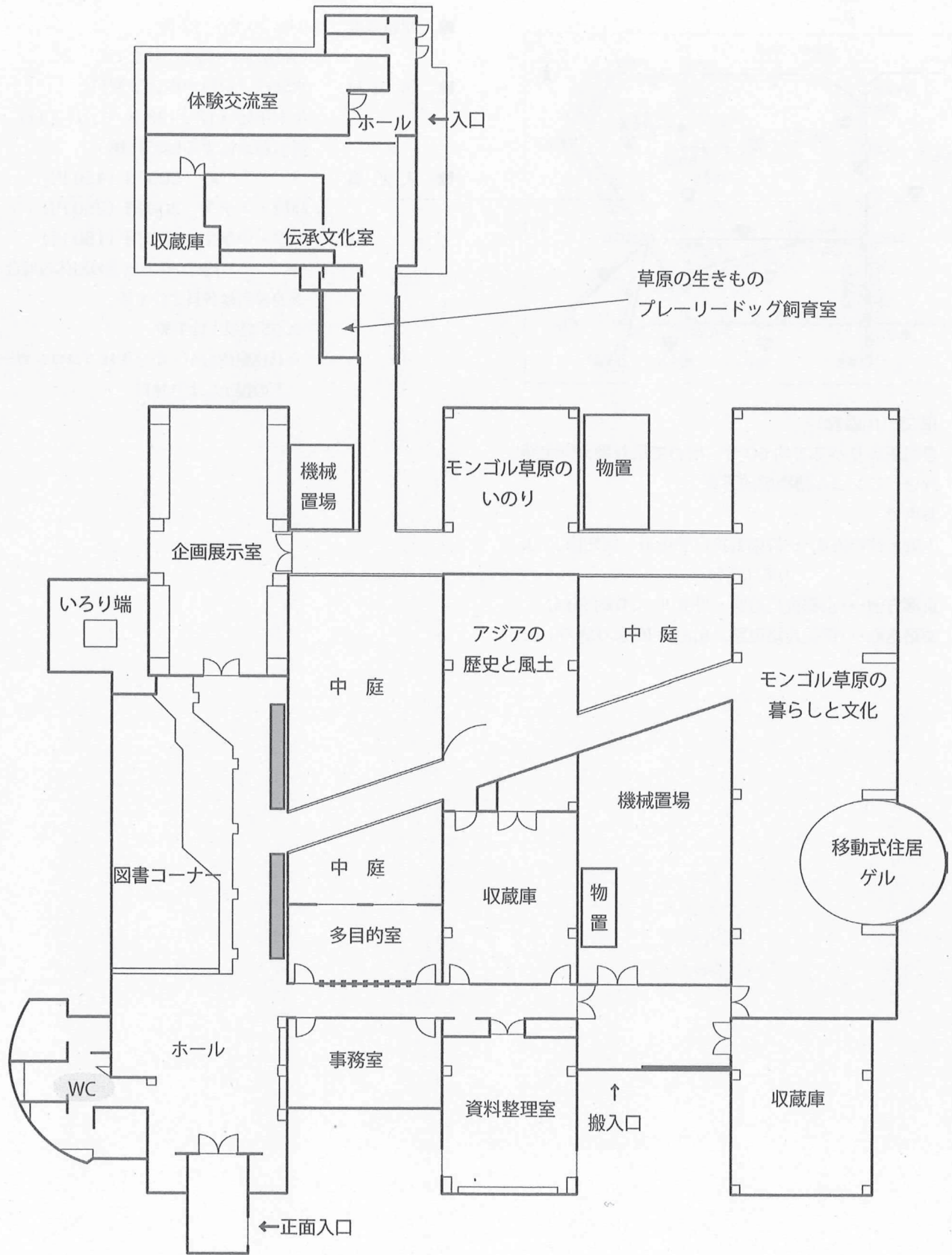
建物規模 平屋建て 東西12.8m 南北21.2m
 地上高7.1m

仕 上 げ <外装> 押出形成セメント板
 <内装> 床 : モルタル下地タイルカーペット貼
 壁 : ビニルクロス貼 一部杉板張
 天井 : 化粧PB張 一部杉板張

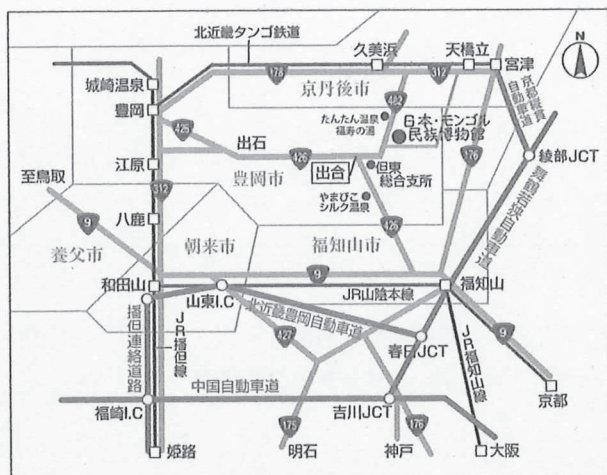
(3) 配置図



(4) 館内図



12. 交通案内



- JRで（山陰線）
豊岡駅よりバスで約60分 出石で乗り換え（奥藤行き）モンゴル博物館前下車
- お車で
大阪・神戸方面・・・舞鶴若狭自動車道 福知山ICより約60分
京都方面・・・京都縦貫道路 丹波ICより約90分
姫路方面・・・播但連絡道路 和田山ICより約60分

13. 利用案内

- 開館時間 9時30分～17時
(入館は16時30分まで)
- 休館日 水曜日（祝日の場合は翌日）
年末年始（12月28日～1月4日）
展示替えによる臨時休館
- 入館料
一 般 500円（450円）
高校・大学生 300円（250円）
小学・中学生 200円（150円）
※（ ）内は20名以上の団体の場合
※身障者は各料金の半額
※65歳以上は半額
※兵庫県内の小・中学生はココロンカードの提示により無料

日本・モンゴル民族博物館年報第 13 号

Annual Report of the Japan Mongolia Folk Museum
No.13 (for the fiscal years of 2011)

〒 668-0345 兵庫県豊岡市但東町中山 711
711Nakayama.Tanto-town,Toyooka-city,Hyogo Pref.668-0345 Japan
TEL (0796)56-1000 / FAX (0796)56-1022
URL <http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>
E-mail monpaku@city.toyooka.lg.jp

発行／日本・モンゴル民族博物館

平成 24 年 3 月 31 日発行